

仏像 祈りの筆



180×95cm 中国・西安にて (2006年)



ごあいさつ
幼い頃、祖母と手をつなぎ近所のお寺さんにお参りするの二人のお散歩コースで、よく境内で祖母はベンチに腰かけ、私はその横で仏像や桜をかいていました。
同じ仏像が、ほほえみ返してくれたり、時には怒り、一緒に悲しみ、背中を押してくれる日も。
仏像をかくことは祈ること。仏像は祈る気持ちを教えてくれました。それは時空を超え、自然や人、建物に対しても通じます。筆を持つとき、手を合わせて向かい合うと対話が生まれました。
これからも出会いに感謝のお祈りをして、蓮の花のように、墨の中から筆のつぼみが立ち上がり、笑顔の花が開くようにかき続けたいと思います。
ぜひ緑豊かな栄村の美術館におでかけ下さい。



かんのんさまの書きました。
おかあさんがほっとさまを書くとときは、おのるをもちごさき、おさいとしました。
はがき3枚 (1989年)

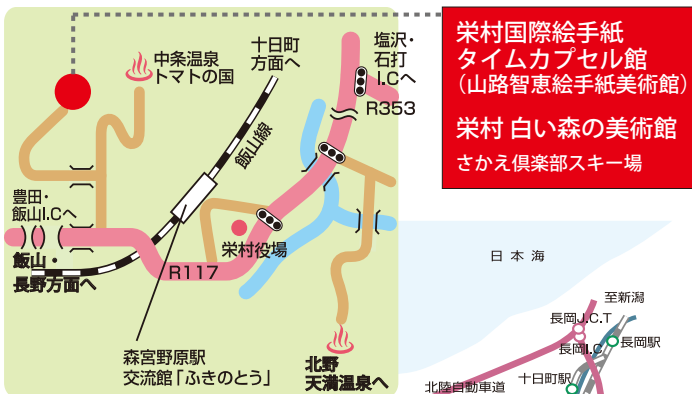
長野県木島平村・稲泉寺の大賀蓮を畳六枚の大きさの和紙に畦道で紙を広げてかいたときのこと、蓮は真夏に、泥水の中から立ち上がり、早朝から清らかな花を咲かせ、つぼみが開いた中には実があり、そこにはあだ花がありません。お釈迦様の台座の花は蓮の花。苦しみや悩みの中から栄養を吸収して立ち上がり、笑って次の時代へバトンをつなぐ姿を見ているようでした。
「泥の中でこそ、自分の花を咲かせるんだよ」と、かきながら励ましてくれたのです。
蓮の花に集まるハチやアリ、カエルやヘビは仏像を拜む人間にも重なります。
(山路智恵)



■ 祈る気持ちでかく蓮の花

美術館のごあんない&アクセス MAP

- 開館時間/午前10時～午後5時(入館は閉館の30分前)
- 休館日/毎週火曜日(ただし祝日は営業)、冬期休業(12月～4月)
- 入館料/タイムカプセル館(山路智恵絵手紙美術館)・栄村 白い森の美術館
2館共通券 一般 800円 小中高生 400円
※団体割引(10名以上200円引) ※障害者割引(300円引)
- 交通/最寄駅・J R 飯山線「森宮野原」、森宮野原駅よりタクシー 5分



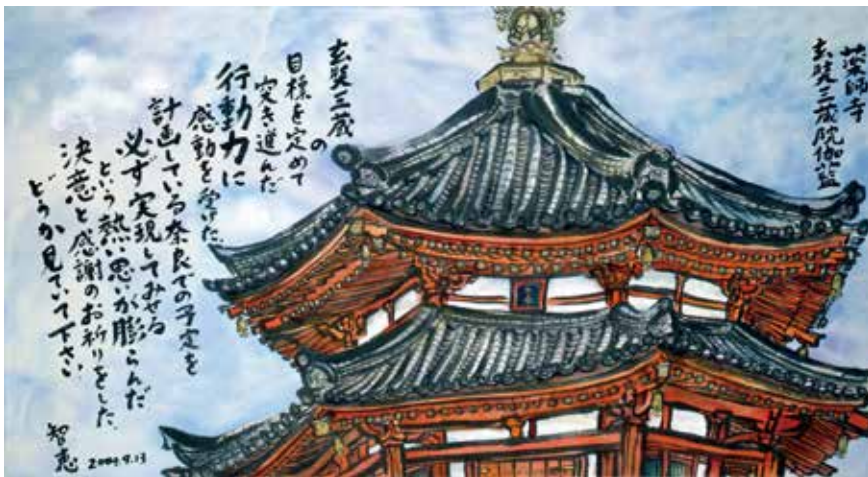
栄村国際絵手紙
タイムカプセル館
(山路智恵絵手紙美術館)

栄村 白い森の美術館
さかえ倶楽部スキー場



東京	上越新幹線	越後湯沢	南越後観光バス「森宮野原」(行約60分)	森宮野原(最寄駅)
			ほくほく線	十日町
	北陸新幹線	飯山	飯山線	
名古屋	特急しなの	長野	飯山線	
新潟	上越線	越後川口	飯山線	

2016年の新企画展「仏像 祈りの筆」



105×195cm 薬師寺 (2004年)



46×33cm 喜多院五百羅漢 (1998年)

本展では、シルクロードを旅してかいた中国の西安や敦煌の作品、奈良のお寺はもちろんです、埼玉県川越市にある喜多院に一年かけて通ったかいた五百羅漢などを展示いたします。「祈りの筆」をキーワードに、独自の世界を見せる山路の絵手紙をお楽しみください。



46×33cm 喜多院五百羅漢 (1998年)



105×195cm 鑑真東渡記念館 (2004年)

第3回 手のひら童話公募展

会期 2016年5月より順次展示(11/30まで)

絵と言葉を通じて、子どもたちには豊かな表現力と想像力を育むきっかけに、大人のかたには童心に帰るきっかけになればと願い、「第3回手のひら童話公募展」を実施します。(募集期間9月15日まで)



山路智恵 (やまじ・ともえ)

1981年東京生まれ。仕事を持つ母が、子どもとの思い出作りにと絵本の読み聞かせから始まった絵手紙は、小学校入学式の日から一日も休まず小池邦夫氏宛に投函。小学6年生の9月には連続2000日を達成。現在も絵手紙をかき続けている。



絵手紙親善大使として、米国・ルクセンブルク・中国での個展をはじめ、日本各地で展覧会を開催。1993年には「小川未明文学賞特別賞」を受賞。著書に「いい春しょって2000日」「一片の詩にほほよせて」などがある。

山路智恵絵手紙美術館・館長。
☆山路智恵の絵手紙ブログ <http://ameblo.jp/tomoe-yamaji/>

美術館の情報やイベントのご案内、創作活動の様子などを紹介する「山路智恵美術館ニュース」(年4回程度発行・購読無料)の購読をご希望のかたは(0269-87-1920)までお申し込みください。

〒389-2702 長野県下水内郡栄村北信2503
TEL 0269-87-1920/FAX 0120-5562-03
URL:<http://www.etegami-goods.co.jp>